

## そらいろ保育園における自己評価 令和6年度

評価項目	評価内容(課題・改善策)
保育目標	一年の最初に年間指導計画を明示し、そこに向かって園として、クラスとして臨めた。目標や課題を立てるだけでなく、しっかりと事後の反省や評価を適切に行い、今後の保育に活かしたり、臨機応変な対応を意識していく。
保育について	一人ひとりの子どもの特性に応じて保育や対応を考えて取り組むことができた。また昨年度よりも幅広い保育を取り入れようと尽力してくれる職員も多く見られた。引き続き更に保育を発展させて、質の高い保育を提供出来る方法を考え取り組んでいく。またクラス間での差異も生じてくるので、しっかりと連携を取り同じ方向性を出していけるように努めたい。
行事	日々の保育と並行して行事にも力を入れて取り組めた。保護者からも好評いただけているものが多いので、評価・反省を適切に行い、職員の負担を抑えつつ楽しめる内容を模索していく。
研修	専門性を高めるだけでなく、自主性も出して研修を行っていきけるようにしていきたい。学んだことを周りの職員にも共有できるような報告会なども開催出来れば、より質の高い保育を目指せるのではないかと考えている。
家庭・地域との連携	連絡ノートだけではなく、送り迎えの際に各保育者が丁寧に保護者対応を行ってくれ、高い満足感を得られたのではないかと考えている。今後も丁寧な対応・コミュニケーションを心掛け、それぞれの家庭に寄り添っていく。
安全対策	噛みつきなど園児同士のトラブルはあったものの、再発防止に努めたり改善策を話し合うような姿もあった。大きな怪我や事故が見られず一年を終えられたのも、職員同士連携を取って見守ってこられた証拠だと思う。今後はヒヤリハットをより重点的に取り組みたい。
情報発信	ブログの更新と写真販売の頻度をあげることで、保護者に対して保育内容の発信の機会を増やすことができた。引き続き取り組みながらも、個人情報保護の観点についてもより意識を高めていく。
情報保護	知り得た個人情報や家庭事情などより慎重に取り扱うようこれからも心掛けていく。また園全体としても職員全員が同じ意識をもって仕事に臨むよう、秘密保持の重要性を周知していく。
調理内容	調理と保育現場との連携をより深めることにより、お互いにフォローしやすい環境を整えられた。その上で調理以上の業務を強いている場面も目に付いたので見直しを図っていく。また連携を取って食育活動を保育に取り組んでいく。
健康管理	子どもたち一人ひとりの健康状態について担任だけではなく園全体で共有できるように引継ぎノートを効率的に活用した。感染症等の拡大を防げるように嘔吐や下痢に対する処理方法を園全体で確立できるようにしていきたい。
事務管理	現場での事務的業務をできる限り簡素化して保育者の負担削減を図っていく。また迅速に分かりやすくまとめることで、様々な業務の効率を上げていきたい。